

## 会 議 録

会議の名称	令和4年10月定例教育委員会		
開催日時	令和4年10月28日 13時35分開会 14時33分閉会		
開催場所	つくば市役所本庁舎2階 会議室201		
事務局	教育局教育総務課		
出席者	委員	教育長 森田 充 委員 倉田 廣之 委員 柳瀬 敬 委員 和泉 なおこ 委員 成島 美穂	
	委員以外の出席者	教育局次長 教育総務課長 学務課長 教育施設課長 健康教育課長 学び推進課長 特別支援教育推進室長 総合教育研究所長 教育相談センター所長 生涯学習推進課長 文化財課長 中央図書館長 教育局企画監	久保田 靖彦 笹本 昌伸 下田 裕久 鈴木 聡 柳町 優子 岡田 太郎 中島 澄枝 山田 聡 久松 和則 澤頭 由紀子 石橋 充 柴原 徹 山岡 めぐみ
公開・非公開	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	1人
会議次第及び議事	1 開会 2 議事録承認 3 教育長の報告 4 案件 (1) 議案第35号 令和4年度つくば市一般会計予算案(12月補正)に同意することについて(非公開) (2) 議案第26号 臨時に代理した事務の管理及び執行の状況について		

	(つくば市教育委員会職員の分限処分) (非公開)
(3) 報告第 27 号	臨時に代理した事務の管理及び執行の状況について (つくば市教育委員会職員の分限処分) (非公開)
(4) 報告第 28 号	臨時に代理した事務の管理及び執行の状況について (つくば市教育委員会職員の分限処分) (非公開)
(5) 報告第 29 号	独立行政法人教職員支援機構との連携に関する協定 締結について (公開)
5	その他
6	閉会

### ◎会議の概要

1 開会	
森田教育長	ただいまから令和4年10月の定例会を開催します。
2 議事録の承認	
森田教育長	では初めに議事録の承認ですが、令和4年9月定例会の議事録を委員の皆様事前に確認していただいております。その後修正がないようでしたら、議事録を承認することとしたいと思いますが、よろしいでしょうか。
委員一同	はい。
森田教育長	それでは、皆さんの承認を得たことによりまして、そのまま進めさせていただきます。今回の署名人を和泉委員にお願いいたします。よろしく申し上げます。
3 教育長の報告	
森田教育長	それでは、次第に従いまして進めます。3番が、教育長報告になります。 私の報告の前に、本日、文部科学省の令和3年度の児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果がテレビや新聞で扱われておりますが、今私たちが話し合っている不登校においては、小学生の不登校が急増しているという報道がなされています。茨城県については、全国の増え幅よりも多いと茨城新聞にもありましたが、千人当たりの発生率で言うと、今年は全国で3番目という状況で

す。支援についても、今後こうあるべきではないかという報道がたくさんなされていますけれども、私たちが話し合っていることが、その点でもきちんと対応できているのではないかと、そんなふうに思いながら報道を見ておりました。

さて、つくば市の教育の進み具合ということで報告させていただきますと、教育大綱も5年の計画期間の半分を過ぎたわけですが、今年は「管理から自己決定」を重点的に取り組みたいということで前にもお話ししました。学校の決まり、約束事、それからタブレットの使い方などを児童生徒自身が自ら主体となり、話し合って決めていくという「ルールメイキング」に取り組んでいます。この取り組みの成果を市内の代表校が11月25日のプレゼンテーションコンテストで発表できるように今進めているところです。各学校でかなり熱心に進めております。

「教えから学びへ」については、昨年度も強調月間として全員で取り組む時期を決めて頑張ろうということでやっておりました。今年度も引き続きそれを進めております。その中で、昨年度と比較して、「知りたいという気持ちで授業に参加している児童生徒」の割合が3ポイント、「課題を自分の力で解決しようとしている児童生徒」の割合が4ポイント程度上昇しており、昨年度の取り組みの成果がかなり上がっているのではないかと思います。今年度も11月を、「教えから学びへ」推進月間として設定しており、全員でまた取り組んでいきたいと思っています。

それからもう1点は、10月に行われました、第66回茨城県科学研 究作品展について、例年どおりつくば市からも、多くの子どもたちの作品が県南展から県展の方に出品されました。小学校の部では、並木小学校の作品が県知事賞、吾妻小学校の2グループの作品が県教育長賞と県教育研究会長賞、そして竹園東小学校がつくば科学万博記念財団理事長賞に入賞しています。それから中学校の部では、竹園東中学校の3グループの作品が、県知事賞、県議会議長賞、つくば科学万博記念財団理事長賞、手代木中学校が県教育長賞、春日学園義務教育学校がげんでん財団科学賞に入賞と、昨年度に引き続き、大変すばらしい結果であったと思います。改めてつくばの取り組みが評価されたのではないかと感じています。頑張った子どもたち、そして指導した先生

<p>委員一同</p> <p>森田教育長</p>	<p>方には本当に感謝したいと思いますし、栄誉を称えたいと思います。</p> <p>それでは4の案件に入りたいと思います。本日は、議案が1件と報告が4件です。議案第35号は、議会案件で非公開です。報告第26号、第27号、第28号は、いずれも人事案件になりますので非公開です。そして報告第29号は公開ということで進めたいと思います。いつものように、非公開案件を先に審議して、後に公開案件、そしてその他というふうに進めたいと思いますが、そのように進めてよろしいでしょうか。</p> <p>はい。</p> <p>それでは、非公開案件から進めますので、傍聴人の方がいらっしゃる場合には、一度退出をお願いいたします。</p>
<p>(1) 議案第35号 令和4年度つくば市一般会計予算案（12月補正）に同意することについて（非公開）</p>	
<p>森田教育長</p> <p>各課等の長</p> <p>森田教育長</p> <p>森田教育長</p>	<p>それでは、議案第35号、12月の補正予算について、各課から説明をお願いします。</p> <p>（議案に対する説明）</p> <p>ただいまの説明に関しまして、質問、それから確認事項ありましたら、お願いいたします。</p> <p>（議案に対する質疑応答）</p> <p>他にはありますでしょうか。ないようですので承認することとしてよろしいですか。では、承認するとさせていただきます。</p>
<p>(2) 議案第26号 臨時に代理した事務の管理及び執行の状況について（つくば市教育委員会職員の分限処分）（非公開）</p> <p>(3) 報告第27号 臨時に代理した事務の管理及び執行の状況について（つくば市教育委員会職員の分限処分）（非公開）</p> <p>(4) 報告第28号 臨時に代理した事務の管理及び執行の状況について（つくば市教育委員会職員の分限処分）（非公開）</p>	

森田教育長	それでは報告の第 26 号、27 号、28 号と関連事項でございますので、一括しての説明をお願いしたいと思います。
笹本教育総務課長	(議案に対する説明)
森田教育長	ただいまの説明に、質問確認事項ありましたらお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。
委員一同	はい。
森田教育長	では報告の通りとさせていただきます。以上で、非公開の案件は終了となります。では公開案件に入りますので、傍聴人の方がいらっしゃいましたら入室をお願いします。
(5) 報告第 29 号 独立行政法人教職員支援機構との連携に関する協定締結について (公開)	
森田教育長	それでは報告の第 29 号を議題とします。学び推進課、お願いします。
岡田学び推進課長	報告第 29 号、独立行政法人教職員支援機構との連携に関する協定締結について報告させていただきます。つくば市教育委員会の権限に属する事務の委任及び代理に関する規則第 2 条第 3 項の規定により協定を締結させていただきました。具体的な内容ですが、10 月 26 日に、つくば市教育委員会と独立行政法人教職員支援機構との間で連携協定を結びました。内容ですが、もともとの目的としましては、教職員の資質向上を図るとともに、広く教育に関する諸課題に対応するため、組織的及び継続的に相互に連携協力をして、教育研究の充実及び持続的な発展を目的としております。この独立行政法人教職員支援機構ですが、こちらの教員の研修の企画運営をしてくださるところです。そこと我々が協定を結ぶことによって、こういったメリット等があるかと言いますと、例えば、我々の方におきましては、この支援機構が企画する研修に、つくば市の方が多少優先的に声をかけていただけるということ。それから、支援機構で様々な施設や研修室等をお持ちですの

	<p>で、そちらの場所を無償でお貸しいただけるということがございます。逆に支援機構にとっては、支援機構は学校ではありませんので、これまで具体的に授業等を生で見る機会ということがほとんどできませんでした。今回、つくば市内の学校で授業参観を我々と一緒に行うことで、実際の生の学習指導を支援機構の職員が見る、参観する、研修するということが可能になります。また、支援機構では、教職員用の研修動画を多く作成しておりますが、その動画を作成する際に、つくば市内の学校や施設、教員などを活用しながら、動画を作成できるということで、お互いにメリットのある協定であると考えております。説明は以上でございます。</p>
森田教育長	<p>ただいまの説明に質問、確認事項がありましたらお願いしたいと思います。はい、柳瀬委員お願いします。</p>
柳瀬委員	<p>まず、教員研修センターを見学に行きたい。どういう施設があるのか、施設提供に関することと協定書にも書いてあるので、空いている時には使えるということですかね。これは非常にメリット大きいと思いますね。一度研修センター見てみたいです。</p>
岡田学び推進課長	<p>支援機構の方と調整をさせていただいて、改めてご連絡させていただきたいと思います。</p>
柳瀬委員	<p>よろしくお願いいたします。</p>
森田教育長	<p>宿泊施設もありますね。他にはありますでしょうか。よろしいですか。</p>
森田教育長	<p>今早速、若手教員の魅力発信という動画を作成するために、荃崎三小の先生の1日を記録したいということでやっているようですが、職員の方がとても良い動画が撮れたと言っていました。先生も随分喜んでみたいと思います。ではよろしいですか。この報告の通りとさせていただきます。</p>
<p>5 その他（生涯学習推進課：ドリームフェスタ及び科学フェスティバルの開催）</p>	

森田教育長	<p>それでは案件は以上で終了しましたがけれども、その他に移りたいと思います。まずドリームフェスタ及び科学フェスティバルについての説明を、生涯学習推進課、お願いいたします。</p>
澤頭生涯学習推進課長	<p>10月と11月はイベントがたくさんございまして、その中でも今日は2点ご紹介させていただきたいと思います。</p> <p>まずドリームフェスタの方からでよろしいでしょうか。パンフレットをお配りしております。10月30日（日）に、センター広場におきまして、市内在住在学の中高生自らが考えた企画を発表する場となっております。この事業は、青少年の自主的な活動を支援し、青少年の明るい未来をつくることを目的とした学校外における体験学習の一つとして位置付けております。最初は、平成30年に市内3ヶ所の交流センターで初めて開催しております。そのあと令和元年、2年、3年と続いておりまして、今年もまた実施しております。最初の参加人数は16人、44人、19人という推移でしたが、今年は48人になっておりまして、今まで実施した延べ人数173人に参加していただいております。参加校も、当初は竹園高校ですとか桜中学校のみの限られた学校でしたが、今回新しくつくば工科高校ですとか、つくば開成、土浦日大中等教育、常総学院、芝浦工大柏高校などの生徒さんにも加わっていただいております。計9校から参加いただき、多くの学校の生徒さんが参加する行事となっておりますので、ぜひご覧いただければと思います。</p> <p>続きまして、科学フェスティバルのご案内をさせていただきます。こちらは11月12日（土）に3年ぶりに開催いたします。生活環境部の環境フェスティバルとコラボする企画となっております。つくばサイエンスラボ2022 科学と環境のフェスティバルとして開催させていただきます。場所は、カピオと大清水公園です。学校や研究機関にご参加いただきまして、発表は40のブースを出展して、体験や実験等を繰り入れていきたいと考えております。こちらのチラシを配らせていただきますので、ご覧いただければと思いますが、標語もこの時に、市内学校の4年生から9年生を対象に募集しました。こちらに、「だす炭素 ぼくたちの手で だつ炭素」とあり、とても上手だなと思う標語を載せておりますが、今回標語を募集したところ、1,000点を超える応募がありました。その中で最優秀賞ということで、こちらを</p>

	<p>載せております。例年2日間の開催だったのですが、今年はつくばマラソンと日程がかぶってしまったので、11月12日（土）の1日のみの開催となりますが、ぜひお越しいただければと思います。以上です。</p>
森田教育長	<p>はい、ありがとうございました。何か質問等ありましたらお願いしたいと思いますが。はい、柳瀬委員どうぞ。</p>
柳瀬委員	<p>ドリームフェスタ2022のイベントスペースはBiViで行われるのですか。「こんなやつがしゃべる！『けいざい』のお話！」は、どちらの主催ですか。</p>
澤頭生涯学習推進課長	<p>男子高校生がお一人で話すような形になっていたかと思います。企画の段階ではそのような形でした。</p>
柳瀬委員	<p>なるほど。表現が、「こんなやつがしゃべる！『けいざい』のお話！今からお小遣いを増やそう！」ですけども、どうなのでしょう。あんまり内容まで立ち入るのは、いかがなものかとは思いますが、少し表現に問題はあるかなと思います。</p>
澤頭生涯学習推進課長	<p>こちらの子どもたち自身が実際にデザインしたイラストになっておりまして、なるべく子どもたち本人の思うところを尊重しようというスタンスでやっております。</p>
柳瀬委員	<p>なんでもありなのかといわれると、内容がわからないのでどうこうは言えないのですが、表現が適切ではないのかなと思いました。あくまで意見ですが。</p>
森田教育長	<p>そうですね。子どもたちに任せる部分と、指導しなければならない部分というのは、今後気をつけていく必要はあるのかなと思いますね。他にはありますか。お時間あれば、ぜひ一緒に見ていただければと思います。科学フェスティバルも1日になってしまいましたけども、3年ぶりですので、ずっとこれまで開催できませんでしたので、子どもたちも大変楽しみにしているという話をしております。</p>



	た。
森田教育長	はい、倉田委員お願いします。
倉田委員	企画大変ですね、ありがとうございます。この科学フェスティバルについては、今は、小中学生は参加しない方向で進めているのですね。
森田教育長	生涯学習推進課長、お願いします。
澤頭生涯学習推進課長	はい、以前は小中学校単位でやっていたようなのですが、今はそのような形ではなく、自主的に参加希望があればという形で行っております。
森田教育長	中学校の科学部や小中学校、学園で出展するなど、そういう形みたいですね。昔は学校ごとといますか、学区ごとにやっていたんですね。よろしいですか。ではありがとうございました。私たちが用意したものは以上ですが、もしここで話し合いたいことや次回までに議題にしたいことがありましたらお願いしたいと思いますが、何かありますでしょうか。
森田教育長	今すぐはないようですので、もしまたございましたら、メールでいただければと思いますのでよろしくをお願いします。 それでは以上をもちまして、令和4年10月の定例会を終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。

◎会議録の調製

調製年月日	令和4年(2022年)11月16日
調製者	久保田 靖彦